

(別記様式第15号)

令和3年度

事業進捗状況報告書

| | |
|-----|------------------|
| 事業 | ライフライン等保全対策事業 |
| 主体名 | 実務者(説明者)氏名：橋詰 祥樹 |

| No. | 事業項目 | 事業名 |
|-----|------|----------------------------|
| 1 | ① | みんなで支える里山整備事業（ライフライン等保全対策） |
| 事業費 | | 332千円（うち森林づくり県民税：269千円） |

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

地域住民のライフラインとなっている道路沿線に倒木により、送電線に被害を及ぼす可能性のある危険木が存在するが、所有者による適正な処理が期待できない。

(2) 本事業の目的

倒木の可能性のある危険木を伐採し、送電線への安全の確保を行う。

事業内容

(1) 実施場所 上田市野倉ほか

(2) 対象者 上田市

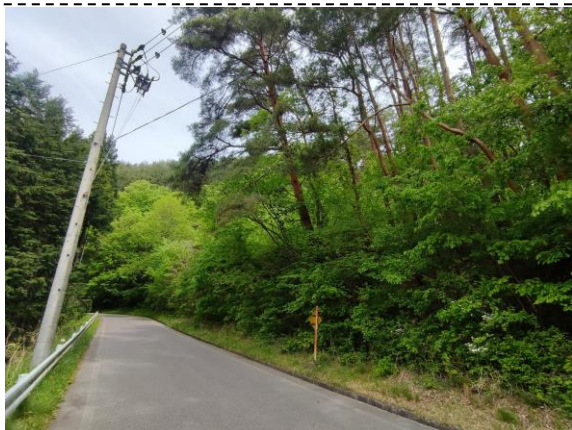
(3) 実施方法 ライフライン沿いにある倒木のおそれのある立木の伐採

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（令和元年度～令和3年度）

②令和3年度進捗状況

B



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

倒木の危険性のある立木をあらかじめ伐採することにより、倒木被害と倒木による送電線、電話線の切断等の二次災害の発生を防ぐことができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

ライフライン沿いにある倒木の可能性のある危険木は市内各所にあるため、継続して事業を実施する必要がある。また、立木を伐採することにより、倒木の危険は当面の間は発生しない。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

倒木の危険のある立木を伐採することで、危険が除去されたことが視認できる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

○令和4年度以降も事業を継続する場合は、予算の拡充をお願いしたい。

○スギ、ヒノキ、カラマツとそれ以外の樹種で伐採の単価に差があるため、単価の見直しをしていただきたい。

○

○